



ほけんだより 号外

令和5年11月10日

梶原ピッコロ保育園

看護師 桐山恭子

11月に入り、まだまだ感染症が収まりをみせず、大阪府では咽頭結膜熱(アデノウイルス感染症)は過去10年で最多を継続中で、現在、流行警報レベルです！アデノウイルス感染症以外でも、溶連菌、感染性胃腸炎も発生しており、周囲ではインフルエンザも増えてきている状況です。適宜、ホワイトボードに感染症発生状況を掲示しますので、ご確認ください。引き続き感染予防対策をお願いします。

咽頭結膜熱(アデノウイルス感染症)について

咽頭結膜熱(アデノウイルス感染症)とは

アデノウイルスによる感染で、潜伏期間は5～7日です。ウイルスが口・鼻、喉の粘膜、眼の結膜から入って感染します。飛沫感染、接触感染(手指・タオルの共用など)、便を介しての経口感染があります。アデノウイルスは60種類以上もの型があり、それぞれ異なる症状を呈します。

プールで子どもの間での流行が多いため、「プール熱」とも呼ばれていますが、プール以外でも感染します。

症状

- ☆突然の発熱(38～40度)、頭痛、倦怠感
- ☆喉の痛み、食欲不振
- ☆結膜炎に伴う結膜充血、目の痛み、目やにや涙が多くなる
- ☆下痢を主体とする急性胃腸炎 など



予防方法

- ☆流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう
- ☆感染者との密接な接触は避けましょう(タオルなどは別に使いましょう)
- ☆バランスの取れた食事と十分な睡眠で、普段から抵抗力をつけておくことも大切です

咽頭結膜熱(アデノウイルス)にかかったら

- ☆水分補給、咽ごしの良い食べ物を食べる
- ☆十分な手洗い・うがいとタオルの共用は避ける
- ☆症状が消えた後も、約1か月間は尿・便中にウイルスが排出されるため、注意が必要です
- ☆目やには感染力が強いため、ビニール袋に入れて捨てましょう

治療は

- ☆特別な治療法はなく、対症療法です
- ☆咽頭結膜熱と診断された場合、登園停止になります。熱や喉の痛み、結膜炎などの主要な症状がなくなっ
てから2日間が過ぎたら登園できます【登園許可証が必要です】